



ふくやま病院の緩和ケア

～より良く生きるためのケア～



「緩和ケア」ってなんですか？

緩和ケアとは、がんに伴う体と心の痛みを和らげ、患者さんご家族の療養生活全般を支える考え方で、終末期だけでなく、がんと診断された時からがん治療と同時に行われる必要があります。

これまでのがん医療では「がんを治す」ことだけに関心が向けられていましたが、最近では早期から患者さんご家族の「こころのつらさ」に寄り添い、その人らしく、より良く生きるための支援も同じように大切だと考えられるようになりました。

※緩和ケアはがんに限ったものではありませんが、ここではがんの緩和ケアについて述べています。

がんの治療と緩和ケアの関係の変化

がんの経過

これまでの考え方

がんに対する治療

緩和ケア

がんに対する治療が終了するまで苦痛緩和治療は制限し、治療終了後に緩和ケアを行う

新しい考え方

がんに対する治療

緩和ケア

がんに対する治療と並行して緩和ケアを行い、状況に合わせて割合を変えていく

国立がん情報センター「がん情報サービス がんと療養 204」参考

ふくやま病院の緩和ケアは
がん患者さんにご家族を

ずっとまるごと支えます

ずっと

- がんが診断された時から
- 抗がん治療中も治療後も最期まで
通院、入院、在宅医療を通じて切れ目なく



まるごと

- からだのつらさだけでなく、
こころのつらさ・暮らしの不安も
- 患者さんだけでなく、ご家族も

緩和ケア病棟では3つの目的で患者さんにご家族を支えます

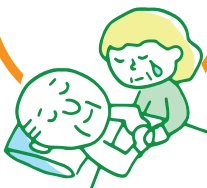
1

「からだ」と
「こころ」の
苦痛の緩和



2

看取り



3

ご家族の
休息
(レスパイトケア)

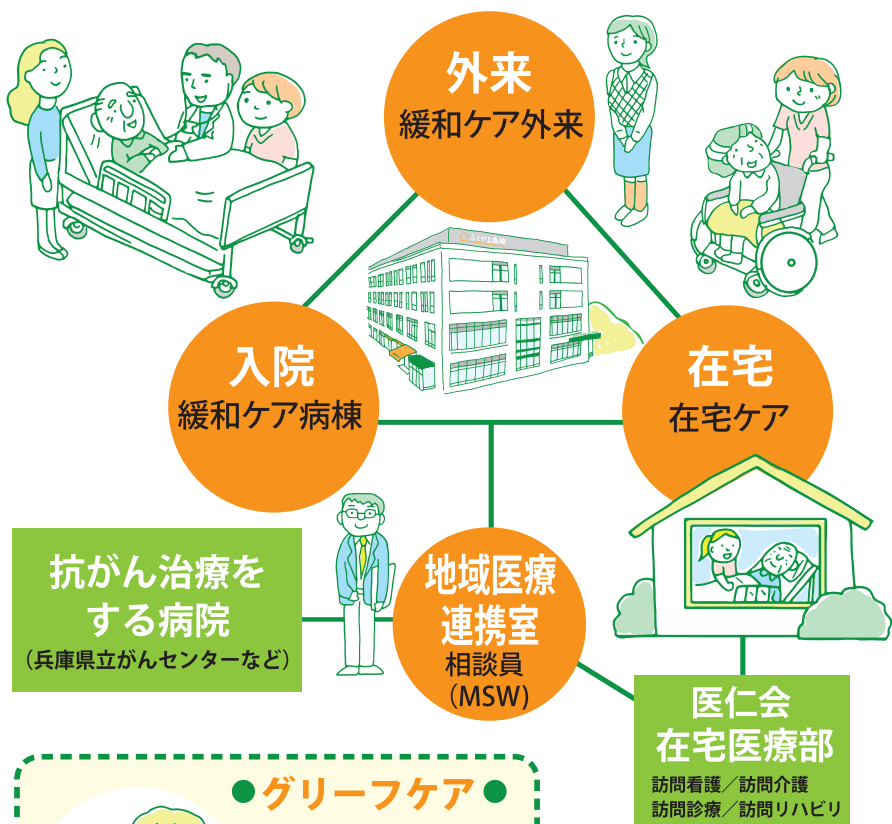


※抗がん治療は手術、放射線、化学療法(抗がん剤治療)などの「がんに対する治療」のことです。

ずっと

がんと診断された時から
切れ目のない
緩和ケアを

がんと診断された時から、
抗がん治療中も
治療が終わった後も…



● グリーフケア ●

大切な方を亡くされた
悲しみに寄り添う

亡くなられた方の鎮魂、そして
患者さんと共に過ごした思い出
を遺族の方と語りあう「しのぶ会」
を年二回開いています。



がんと診断されたら、抗がん治療中
から、緊急時だけでなく、定期的
に、緩和ケア外来、入院、在宅ケアを
通じて「ずっと」患者さんを支えます。

まるごと

いつでも
なんでも
ご相談ください



チームカンファレンスで情報共有

多職種が集まるチームカンファレンスでは患者さんの情報を共有して治療の方向性を検討し、患者さんご家族がより良い時間を過ごせるように意見交換をしています。



看護師による定期勉強会も

医療チームでまるごと支えます

医師を中心に多職種が協力して患者さんのからだところの痛み、生活上、療養上の不安を軽減できるようチームで支えます。

● レスパイトケア ●

ご家族の休息のためのレスパイト入院

緩和ケア病棟はご家族の休息のためにもご利用いただけます。在宅ケアをするご家族が休めるように患者さんを大切に預かります。

困った時はいつでもそばに

どんなときに、ふくやま病院の緩和ケアを利用すればいいの？
主なケースを具体的にマンガでご紹介します。

ケース1 他院でがんの治療をしながらでも緩和ケア外来に通えます



「がん」と診断された時から、緩和ケア外来になんでもご相談ください。抗がん治療が終わってからの「緩和ケア」ではなく、治療初期から体調管理、不安な点、お困りのことを外来スタッフと地域医療連携室がチームでサポートします。

ケース2 症状や治療に応じて入院・退院ができます



入院では、通院よりも短期間で薬の調整や痛みのコントロールが可能になります。入院したら、退院できない。または、一旦退院したら入院できない。ということはありません。患者さんの症状に合わせて効率よくご利用いただくことができます。

ケース3 ご家族の休息のためのレスパイト入院が可能です

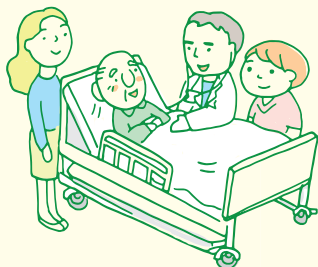


ご家族の体調管理も大切です。ご自宅での看護・介護に疲れた時は、ムリをせずレスパイト入院をご利用ください。一定期間患者さんをお預かりし、ご家族の介護の負担を軽減できるようにサポートします。

ケース4 患者さんとご家族の希望があればご自宅での看取りを



緩和ケア病棟に入院中の患者さんやご家族が、ご自宅での看取りを希望された場合、地域医療連携室や在宅医療チームとの連携により、可能な限りご希望に沿えるように努力します。



緩和ケアは、
最期まで
より良く生きるためのケアです。
「がん」と言われたその日から、
あなたを支える
緩和ケアがあることを
覚えていてください。

ふくやま病院ではこんな取り組みも……

がんの治療中に失ってしまったものを悲しむだけでなく、新たに得られる生きる喜びに出逢える場でありたいと考えています。

音楽療法



専属の音楽療法士と音楽の効果を利用し、患者さんと心安らぐ時間を共有しています。

園芸療法



敷地内にある庭では、患者さんのリハビリや心の癒しに、花や緑、土に触れられる機会を提供しています。

イベント



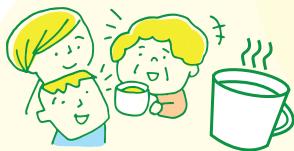
お誕生日会など記念日をスタッフと一緒に祝いしています。

リンパドレナージ (圧迫療法)

リンパの流れが停滞することで起こるリンパ浮腫を緩和するため専門の療法士が圧迫療法を行っています。



がん哲学外来 明石メテikalカフェ



患者さんだけでなく、ご家族、医療スタッフがお茶を飲みながら思いを語り、悩みをわかちあう時間をもっています。

ペット面会



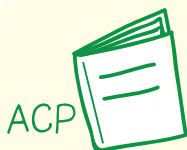
ご自宅で一緒に暮らしていた大切なペットとの面会も可能です。

アロマ マッサージ



エッセンシャルオイルを使用したアロママッサージを行い血液循環を良くし、香によりリラックスして頂きます。

わたしの覚書



医療の最終段階に望む医療やケアについて、ご家族と話し合い意思決定して頂くためのお手伝いをしています。